



## まだ未熟さが残るインターネット

### インターネットという「未編集メディア」

インターネットは急激に普及したせいもあるが「情報の大洪水」になっており、検索エンジンなどを駆使しても、知りたい情報までなかなかたどり着けないのが現状だ。

ところが、テレビ放送に代表されるマスコミでは、限られた放送時間で視聴者にコンパクトに情報を伝えなければならない。このため、放送されるときにはたいへん整理された形になっている。おそらく、テレビで放送されるコンテンツの裏側には、インターネットも顔負けの大量の情報があるのだろうが、きちんと編集されているため、大量の情報が表に出てきて視聴者が検索・整理に苦労することがないようにしている。

この両者の性格の違いに、インターネットとテレビが融合するきっかけを見出すことができそうだ。すなわち、きちんと整理されたテレビ放送による情報は、インターネットのポータルサイトになりうる可能性があるのだ。これまでなら埋もれてしまっていた、テレビ放送の裏側にある大量の情報に、インターネットを使ってアクセスしていくことなら十分に考えられるだろう。

検索エンジンの検索は、キーワードを駆使して少しずつ情報を絞り込んでいく。これに対して、テレビをポータルサイトにすれば、知りたい情報を膨らませていくことができる。こうしたかたちでならば、両者の融合はユーザーにとっても大きなメリットをもたらすことになる。

当面は、テレビがインターネットの入り口となる、そんな方向が両者の融合のきっかけとなっていくのではないだろうか。

### 法整備が必要なネット取引

すっかり定着した額のあるネットオークションだが、数多くのトラブルが報告されている。

たとえば、TBSが2000年の1月から3月まで放送したドラマ『ビューティフルライフ』の主人公を演じていた常盤貴子がドラマ中で使っていた車椅子がネットオークションにかけられたところ、10億円の高値が付けられたという事件があった。オークションの主催者側ではイ



写真提供/RS-11.com

タズラと判断して出品をとりやめたが、収益金はボランティア団体に寄付されることになっていただけに、単なるイタズラでは済まされない問題だ。

ネットオークションは、自宅にいながらインターネットを使って目的の品を売買できる手軽さから、急激に利用者の数が拡大している。全国の出品者を相手にレア商品を探し出せる利便性や、リアルタイムで流れる値動き状況をチェックしながら駆け引きを楽しめるというゲーム性が、普及の後押しをしていると思われる。

インターネットの発祥地である米国でも、「eビジネス」と言われる電子商取引が活発に行われており、中古車販売や株式の売買など多方面での取引に利用されているようだ。一方、わが国では、普及の早さに法整備が追いつかないということで、品物を送ったのに代金が支払われないなど、まるで無法地帯で商取引が行われているかのような印象を受ける。

通産省（現：経済産業省）が、2000年の1月11日から14日まで「ネット通販トラブル110番」を開設して被害実態を調査したところ、相談件数は101件に及び、商品の未着、粗悪品、雲隠れなどのトラブルがほとんどだったと報告されている。

確かに、わが国でも本格的な電子商取引時代を迎えることは間違いのない。ネットオークションを「悪者扱い」するのは無理というものだ。

ただ、物事には順序・段階というものがある。わが国では企業間の電子商取引がようやく緒についたところである。個人レベルで参加していくには、まだまだ解決すべき問題が多く、法整備が待たれるところだ。現段階で取引に参加するのであれば、まさに自己責任の世界だということを感じておくべきだろう。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)